

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」上浅田校		
○保護者評価実施期間	2025年10月22日 ～ 2025年12月20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43 (回答者数)	23
○従業者評価実施期間	2025年12月1日 ～ 2025年12月20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月12日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者が相談しやすい。	・指導員間で情報共有をしているため全職員で子どもたちを把握し、支援内容も考えている。 ・支援終了後毎回、フィードバックの時間を設けている。	・今後も職員間の情報共有を密にしたり、園との連携も深めたりして保護者が相談しやすい環境を整えていく。
2	通所を楽しみにしてくれている子どもが多い。	・苦手な事はスモールステップで、好きな事も支援に取り入れることで自己肯定感を高める。 ・季節ごとのイベントや長期休みには集団療育の機会も多く企画している。	・個に応じた支援を大切にするため職員間の情報共有を図り、みんなで支援内容を考えていく。
3	地域に開かれた事業運営をしている。	・未就園児を対象とした「あそびのひろば」を開催し、施設開放とリトミックや運動遊びの場を提供している。	・今後もSNSを使った情報発信と保健師訪問を通して周知を図っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の設備において環境的に不十分な箇所が見られる。	もともと塾の校舎を間借りしている状態のため児発専用の環境づくりが難しい。	パーティションの設置、幼児用簡易便座の使用などにより、できることは対応をしている。今後も安心して通っていただける環境整備をしていきたい。
2	保護者同士の交流の場が少ない。	・共働き家庭が多く、土曜日に支援を希望されるご家庭が多く、土曜日をイベントや保護者会として設定することが難しい。	・イベント、保護者会などは年度当初に連絡し、個別の支援数が減らないよう振替などで対応できるように年間計画を立てていく。
3	食事、トイレトレーニングに対する支援が難しい。	・一日療育ではないため食事・おやつ提供は行っていない。トイレに行く回数も少ない。	・お箸の持ち方、使い方に関しての支援を行、トイレも声掛けをしている。 ・保護者の話をお聞きし一緒に考えたりアドバイスを提示したりする。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 きらり上浅田校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数 43

回収数 23

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	6	0	0	パーティションがあると良いと思います	・限られたスペースでの支援となりますので状況によっては不十分かと思えます。いつもご理解、ご協力ありがとうございます。 ・社会性を育む目的で、他者が居る状況での活動やお子様同士が自然に関われるような環境を設定するため、パーティションの常設はしていませんが、ご希望や状況に応じて設置することができますので、ご相談ください。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	23	0	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	3	0	0	パーソナルスペースが必要な場面では、ついたてを立てていただくなど、配慮していただいています。	・限られた場所ではありますが、工夫しながら支援させていただきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	2	0	0	もう少し細かく子供のレベルに合わせて欲しい	・ご意見ありがとうございます。職員間で相談しながら、そのお子さんのニーズに合わせるよう努めています。特に通い始めや、あまりご利用のないお子様に関しましては、アセスメント調整が上手くいかない場合も出やすいです。 ・課題の細かいレベル設定やご要望など気になることがありましたら、ご相談ください。保護者さまと情報を共有しながら、一緒にお子さまの状況にあった支援を作っていきたいと思います。今後も安心して相談していただけるよう配慮して参ります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	1	0	1		・プログラム、内容共にご要望等ありましたらお伝えください。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21	1	0	1	事業所でできる範囲が限られている（できればどの事業所も送迎できるようにして欲しい）	・いつも送迎していただきありがとうございます。 送迎の際に保護者さまと直にお話ができることは、お子さまの様子を共有しやすく、ご要望を素早く反映させることができますので、日ごと成長されていくお子さまの支援に非常に役立っています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	1	0	1	適切が判断できない	・疑問や心配な事がありましたら、是非ご相談ください。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22	1	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	1	0	0		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	10	2	3	8	特に今まで希望していないので交流する機会はありませんでしたが、いつでもお願いすれば交流してくださる環境はあると思います。イベントはあるが、保育園との直接の交流はない。	・全てのご利用者様が併行通園となっていますので特にきらりで交流する機会はありませんが、ご希望があれば設定することができます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	0	0	0		

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	0	3	7		・プログラムとしては提供していませんが、家族支援としまして、保護者様からのご相談を受け付けています。必要に応じて外部機関と連携してご家族の支援を行います。 ・研修会などの情報は校内の掲示板にチラシの掲示を行っています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	22	0	0	1		・支援終了後のフィードバックにおいてお子さまの成長をお伝えし保護者様と共通理解できるよう努めております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	0	1	2	いつも日頃感じている不安や、幼稚園の様子を伝えると毎回適切に助言してもらえます。	・毎回支援後のフィードバック時に保護者様のお話を伺ったり、個別支援計画の作成時に、ご要望などを伺ったりしています。 ・もっとじっくり話したい等のご希望がありましたら、別途面談を設定することができますので申し出ください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	0	0	1		・保護者様要望、お子さまの気持ちにも共感しながら今必要な支援内容を検討し、支援にあたらせていただいています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	2	4	10	仕事をしているので、土曜日に開催していただけると参加しやすいです。	・現在、保護者会は計画していませんが、今後計画していく予定です。その際、ご意見を踏まえ、参加しやすい日時を考慮して設定させていただきます。ぜひご参加ください。 ・イベントによっては、ご兄弟の参加を受け付けているものもあります。現状アナウンスが不足しているかと思われるので、今後はわかりやすいようにお伝えしていきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	2	0	5	保育園の様子を見に行ってもらったことはありますが、そういうことができることは、相談内容次第で紹介されたため、実際に他に何ができるのかわからない。	・契約時に、申し入れに対しての相談窓口について重要事項説明書にてご案内させていただいています。ご確認いただくと幸いです。また、わからないことがございましたら、職員にお声がけください。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	1	0	1		・外国籍の方とは翻訳アプリなどを使って意思疎通できるよう対応させていただくこともあります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	20	2	0	1		・ホームページ、SNS等での活動の様子や行事の予定などを配信しています。是非チェックしてみてください。 ・自己評価の結果は毎年2月頃にホームページに掲載しています。
非常時等の対応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	1	1	0	制服からあえて着替えて通所している子もいます。氏名等が書いてあるものは他の保護者からできるだけ見えないように配慮してほしい。	・配慮が足らず、申し訳ありません。職員間で今回のご指導について共有し、改善を図ります。 ・個人が特定できるような情報に関しては、鍵付きの書庫に保管して取扱いに留意しています。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	1	0	3		・マニュアルは契約時にご案内するとともに、事務所前の棚の上にファイリングしたものを設置しております。 ・また、防犯や感染症対策などに関する訓練を定期的実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	2	0	2		・事務所向かいの壁に計画書・報告書共に掲示してあります。できるだけ多くのお子さまに体験していただけるよう計画していきますので支援時間にあった折にはご協力いただけますようお願いいたします。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	1	0	1	建物の築年数と立地場所の関係から難しいことを理解した上で諦めているところがあります。	・建物などハード面につきましては、設備が充足しているとは言えず、ご心配をおかけして申し訳ありません。 ・安全計画につきましては契約時にご案内するとともに、いつでも目にしていたけるよう、事務所の前の棚にファイリングしたものを設置しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	0	0	3	幸いそのような事態に遭遇していません。	・幸い大きなけがや事故は起こっておりませんが、発生した場合はマニュアルに従って対処いたします。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	23	0	0	0	毎回楽しみに通っています。	・ありがとうございます。今後も安心して通っていただけるよう努力して参ります。

満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	21	1	0	1		・個別のプログラム、個に合った手作り教材を用意するなど楽しく通所していただけるよう工夫して参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	1	0	0	こちらのリクエストも次回から必ず取り入れてくださり、子どもの状況に応じて支援して下さりいつも感謝しています。	・ありがとうございます。今後ご期待に添えるように努力して参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」上浅田校				公表日		2026 年 2 月 14 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・パーティションで対応している。 ・声が響きすぎないように天井に吸音材を設置してある。	・視覚的に情報が多くなって気になってしまう場合がある。 ・夕方などの人気の時間には手狭になる ・運動するにはスペースが少ない。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			・法的には配置数は適切だが、より充実した支援の提供のためには、もう一人いると良い。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	・トイレは幼児用簡易便座を準備してある。	・駐車場の凹凸や入り口の段差などバリアフリーは十分とは言えない。 ・児童用の便器がないため、便座の位置が高すぎる。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・常に清掃や換気は行っている。	・教材などのスペースが少ない。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・必要に応じてパーティションや別室で対応をしている。				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○						
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・これまで頂いたご意見は改善できるものについてはすぐ取り組んでいった。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・職員同士のコミュニケーションはとれており、意見の共有もできている。 ・チームで連携がとれている。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・第三者委員会が設置されていない。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・研修の機会は多く、内部、外部の研修案内を校舎で共有している。				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・保護者さまに聞き取りや確認をしながらお子さんが寄り成長できるように職員みんなで意見を出しあい作成している。 ・ホームページにプログラムの公表が行われている。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○						
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・職員でコミュニケーションを取り、一人ひとりに合わせた計画を作っている。 ・モニタリング会議を行い、課題の見直しを行っている。				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・プログラム作成時などいつでも支援計画を見て計画が立てられるよう支援記録用ファイルにも綴じられている。				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○						
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○						
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・支援担当者は固定にせず、全職員でお子さまの支援計画が立てられるようにしている。				

	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・ 集団が必要と思われるお子さまにはお声がけし、小集団への参加を促している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・ 社内チャット、または口頭にて情報共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・ それまでの支援内容がわかり継続的な支援ができるように記録を充実させている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・ 園見学へ行ったり、利用者の通う園へ伺い様子を共有したりしている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・ サポートかけはしシートを利用し、情報共有を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○		・ 児発連絡会に参加し、必要があれば助言などを受けられる環境を作っている。 ・ 助言をいただくほどではないが、センターに見学に行かせていただいた。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	・ 全員が平行通園であるため、きりぎりでは特に設定していない。 ・ 兄弟児や近所のこどもが参加できるイベントを企画している。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・ 支援後のフィードバックでお子様の成長を共有している。 ・ 外国籍の保護者様には翻訳アプリを使って対応させていただくこともある。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・ ペアトレは必要であれば外部機関との連携を行う。 ・ 研修などは、案内を掲示板に掲示している。	・ 保護者会は行ったが、ペアトレは行っていない。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・保護者会は同グループの他校と合同で行った。 ・兄弟児も参加できるイベントを行っている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・記録等の保管をはじめ個人の特定される情報に関する取り扱いには守秘義務を負うことができている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・きらり「あそびのひろば」として施設開放やイベントを行っている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	・基本食事の提供はしていない。 ・医師の指示書が出ているお子さんはいないが、工作に使う廃材で使えないものがある場合などは保護者さまに確認してから行っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・定期的に研修に参加している。 ・毎月チェックリストにて確認を行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			